

Kiss Sándorné - Dr. Sato Noriko -
Dr. Székács Anna - Horváth Krisztina

できる 2

DEKIRU 2

- Megoldások -

Japán-Magyar Együtműködési Fórum

第 25 課

(20 ページ)

1. (1) テストに合格するかどうか、心配です。
 - (2) 来週の授業に来ることができるかどうか、まだわかりません。
 - (3) あのレストランは予約がいるかどうか、教えてください。
 - (4) 作文の日本語が正しいかどうか、チェックしてください。
 - (5) この宝石は本物かどうか、たしかめました。
 - (6) 水道の水が安全かどうか、しらべてください。
 - (7) ハンガリー料理が好きかどうか、あいさんに聞いてください。
2. (1) 今日は何がおいしうか、ウェイターに聞いてみましょう。
 - (2) むかしの人がどんな生活をしていたか、しらべました。
 - (3) このマンションがいつできたか、知っていますか。
 - (4) だれがこの歌を作曲したか、わかりません。
 - (5) すみません。図書館がどこにあるか、教えてください。
 - (6) いすとつくえがいくつひつようか、書いてください。
3. (1) いろいろな国から留学生が来ますから、話すことができるはずですよ。
 - (2) 先週出しましたから、とどくはずですよ。
 - (3) わかいですから、すぐなれるはずですよ。
 - (4) 中国や韓国のお店がありますから、売っているはずですよ。
 - (5) まだ新しいですから、きれいなはずですよ。
 - (6) りょうは大学の中にありますから、近いはずですよ。
 - (7) ハンガリーの物価はあまり高くありませんから、十分なはずですよ。

(21 ページ)

4. (1) 日本と同じかどうかわかりませんが、中華料理の店がたくさんありますから、たぶんあると思います。
- (2) 学校のコンピュータで日本語を使ったことがありませんから、使うことができるかどうか、わかりません。
- (3) pl.) ハンガリーのほうが北にありますから、たぶんハンガリーのほうが寒いと思います。
- (4) pl.) 毎年、ハンガリーの音楽祭に出ていますから、たぶん「小林けんいちろう」が一番有名だと思います。

- (5) pl.) ^{ちから}力がありますから、きっと^ひ引っこしのアルバイトができるはずです。
- (6) pl.) ^{でんしゃ}電車のほうが^{ひろ}広いし、トイレもありますから、きっと^{でんしゃ}電車のほうが^{べんり}便利でしょう。

5. (1) とぶ (2) とぶ (3) とばないかもしれない (4) とぶ
 (5) とばないかもしれない (6) とんだ (7) とぶだろう

(22 ページ)

2. pl.) A: おねがいします。
 B: はい。^{たいざいもくてき}滞在目的は何ですか。
 A: ^{りゅうがく}留学です。^{にほんご}日本語を^{べんきょう}勉強しに来ました。
 B: ^{たいざいじかん}滞在期間は何日ですか。
 A: ^{ねん}1年です。
 B: ^{しゆくほくち}宿泊地はきまっていますか。
 A: はい。^{きょうだいがく}京都大学のりょうにすみませう。
 B: わかりました。

(23 ページ)

3. pl.) ^{ひだりうえ}左上: ^{みっかまえ}三日前ですから、オペラのチケットがこうかんでできるはずですよ。
^{みぎうえ}右上: インターネットカフェにはコンピュータにくわしい^{ひと}人がいるはずですよ。から、その^{ひと}人に聞いてください。
^{ひだりした}左下: ^{ゆうびんきょく}郵便局に行けば、いつとどくか^{おし}教えてくれるはずですよ。
^{みぎした}右下: ^{いまでんわ}今電話をすれば、^{たぶん}たぶんホテルをキャンセルできると思います。^{でんしゃ}電車のチケットは、^{でんしゃ}電車の^{かいしゃ}会社がはらいもどすはずですよ。

第 26 課

(26 ページ)

1. (1) ^{えき}駅に着いたら、^{でんわ}電話してください。
 (2) ^{じゆぎょう}授業が終わったら、^{きょうしつ}教室の^{でんき}電気を消して、^{かえ}帰ってください。
 (3) ^{おとな}大人になったら、^{なに}何になりたいですか。
 (4) もっと^{がっこう}学校が^{ちか}近かったら、この^ひアパートに引っこしたいです。
 (5) たからくじにあたらたら、^{せかい}世界を^{いっしゅう}一周したいです。
 (6) ^{たいへん}ホストファミリーがいなかったら、とても大変でした。

- (7) 明日^{あした}天気^{てんき}がよくなかったら、部屋^{へや}でDVD^みを見ましよう。
 (8) 体^{からだ}がじょうぶじゃなかったら、この仕事^{しごと}はできません。

2. (1) 休み^{やす}になったら、毎日^{まいにち}、漢字^{かんじ}を十こおぼえよう^{おも}と思っています。
 (2) 休み^{やす}になったら、教科書^{きょうかしょ}を復習^{ふくしゅう}しよう^{おも}と思っています。
 (3) 休み^{やす}になったら、日本^{にほん}を旅行^{りょこう}しよう^{おも}と思っています。
 (4) 休み^{やす}になったら、勉強^{べんきょう}しないで休もう^{やす}と思っています。

3. (1) 12時^じまでに、れきしのレポート^だを出さなければなりません。

Ma 12 óráig kell beadni a történelem dolgozatot.

- (2) 12月^{がつ}25日^{にち}までに年賀状^{ねんがじょう}を出したら、1月^だ1日^{がつ}にとどきます。

Ha december 25-ig postára adja az újévi képeslapot, akkor január 1-én megkapják.

- (3) 冬休み^{ふゆやす}が始まる^{りょこう}までに、旅行^{けいかく}の計画^たを立てましよう。

Mielőtt megkezdődik a téli szünet, tervezzük meg, hogy hova utazunk!

- (4) 連休^{れんきゅう}が終わる^おまでに、村上春樹^{むらかみはるき}の本^{ほん}をよんで^よしまいます。

A hosszú hétvégén kiolvasom a Murakami Haruki könyvet.

- (5) 6時^じまでに、家^{いえ}に帰ら^{かえ}なければなりません。

6 órára haza kell érnem.

- (6) 大学^{だいがく}を卒業^{そつぎょう}するまでに、日本^{にほん}に行こう^いと思っています。

Mielőtt befejezem az egyetemet, el szeretnék menni Japánba.

- (7) 25才^{さい}までに、けっこんしたいです。

25 éves koromig szeretnék megházasodni.

(27 ページ)

4. アーギさん：d

アーギさんは日本^{にほん}の本^{ほん}をよもう^よと思っています。それから、日本^{にほん}のDVD^みを見よう^{おも}と思っています。

エディナさん：c

エディナさんは、日本語^{にほんご}キャンプ^いに行こう^{おも}と思っています。そこで、たくさん日本語^{にほんご}で話^{はな}そう^{おも}と思っています。

ガビさん：b

ガビさんは、日本料理^{にほんりょうり}を練習^{れんしゅう}しよう^{おも}と思っています。

タマーシュさん：a

タマーシュさんは、剣道^{けんどう}を始^{はじ}めよう^{おも}と思っています。

5. (1) 夏らしい (2) 日本らしい (3) お母さんらしく
 (4) 子どもらしく (5) せんもんからしい

6. (1) どう (2) でも (3) じゃあ (4) やっぱり

(28 ページ)

1. pl.) A: テーブルクロスなんかどう? 新しいテーブルを買ったと言っていたから。

B: そうだね。でも、テーブルクロスもいいけど、日本のお茶のほうがいいんじゃない? 二人は日本のお茶がとても好きだと言っていたから。

A: じゃあ、そうしよう。

2. pl.) わたしは、20才までに日本の大学に留学しようと思っています。そして、30才までにけっこんして、大きい家を買いたいです。

第 27 課

(32 ページ)

1. (1) 新聞が読めます。
 (2) フランス語が少し話せます。
 (3) 勉強もできるし、いろいろなスポーツもできます。
 (4) 乗れます。
 (5) コンピュータがなおせます。
 (6) 泳げます。
 (7) 楽器が運べます。
 (8) 大きいごみがすてられます。
2. (1) 明日はいそがしいので、来られません。
 (2) 夜、コーヒーを飲んだので、なかなかねむれませんでした。
 (3) 来週の試合はとても大切なので、まけられません。
 (4) 明日は病院に行かなければならないので、出席できません。
 (5) かぜをひいているので、歌が歌えませんでした。
 (6) きの中の晩、おそくまで勉強したので、今朝、起きられませんでした。

3.

	太郎さん	ハンナさん
できること	サンドイッチが作れます。 コーヒーが入れられます。 運転できます。	クッキーがやけます。 マフラーがあめます。
できないこと	おすしが作れません。	ししゅうができません。

(33 ページ)

4. (1) 作り話 (2) うまく行く (3) となりのせきの人のを写した
(4) むずかしい (5) 無理

5. (1) 高さ (2) 大切さ (3) 重さ (4) ふかさ (5) 便利さ

6. (1) a. あなた：ええと、うちゅう飛行士とかパイロットとか…。
b. あなた：そうですね。うちゅう飛行士やパイロットなどになりたいです。
(2) a. pl.) あなた：ええと、テーブルクロスとかパプリカパウダーとか…。
b. pl.) あなた：そうですね。テーブルクロスやパプリカパウダーなどがいいと思います。
(3) a. pl.) あなた：ええと、テレビを見るとかまんがを読むとか…。
b. pl.) あなた：そうですね。テレビを見たり、まんがを読んだりしています。

(34 ページ)

2. pl.) A：すみません。

B：はい。

A：アノニムス高校のサポーターですが、高校で「日本の日」があるので、ゆかたをかしていただきたいんですが。

B：いいですよ。

A：ありがとうございます。いつまでに返したらいいですか。

B：そうですね、来週もここで「日本の日」があるので、終わったら、できるだけ早く返してください。

A：わかりました。もしよかったら、みやぎきさんもさんかしてください。

B：ありがとうございます。では、場所と時間を教えてください。

A：はい。アノニムス高校で、今週の金曜日、午前10時から始まります。92番のバスで行けます。Törökhegy から歩いて3分です。

B: ありがとうございます。それではまた、^{きんようび}金曜日に^あ会いましょう。^{たの}楽しみに
しています。

(35 ページ)

3. pl.) それでは、かぶ^{つく}どを作りましょう。①まず、紙^{かみ}を半^{はんぶん}分^{ぶん}にお^おって^てください。
②次に、三角^{さんかく}形^{けい}の二^{ふた}つのか^かどを真^まん中^{なか}に合^あわせて、四^{しかく}角^{かく}を作り^{つく}ます。③小^{ちい}さ
い三角^{さんかく}形^{けい}の二^{ふた}つのか^かどを上^{うえ}にお^おり返^{かえ}して、④それ^{ふた}から二^{ふた}つのか^かどを小^{ちい}さくな
なめ^{ひら}に開^{ひら}きます。こ^{ひら}こまででき^{した}ましたか? ⑤はい、こ^{した}んどは、下^{した}の角^{かど}を少^{すこ}し
上^{うえ}にう^{がえ}ら返^{かえ}します。⑥三角^{さんかく}形^{けい}の下^{した}を、も^いう一^{いち}度^{どう}上^{うえ}にお^おって^てください。⑦さ
いごに、こ^{さんかく}の三角^{さんかく}形^{けい}を中^{なか}に入^いれて^いてください。だ^いじょうぶ^ぶですか。⑧ほ^らら、
かぶ^{つく}どが^{つく}でき^{した}ましたよ。

第 28 課

(38 ページ)

1. (1) お^たさし^たみを食^たべるなら / 魚^{さかな}が新^{しん}鮮^{せん}だし、サ^さービ^さスが^いいし。
(2) お^{はい}ん^{はい}せんに入^{はい}るなら / お^おゆ^おが^いきれ^いだし、プ^おール^おで泳^おげるし。
(3) 出^てか^てけるなら / 映^{えい}画^が館^{かん}が^あるし、ゲ^あーム^あセン^あター^あで^あそ^あべるし、カ^あフェ^あで休^{やす}め
るし。
(4) 勉^{べん}強^{きやう}する^よなら / し^よず^よか^よだ^よし、夜^よ11^よ時^よ半^よま^よで開^あいて^あいるし、イ^あン^あター^あネ^あット^あが
使^{つか}えるし。
2. (1) 高^{たか}ければ (2) 寒^{さむ}ければ (3) 回^{まわ}せば (4) 春^{はる}にな^{はる}れば (5) 練^{れん}習^{しゅう}しな^{れん}ければ
(6) お^おも^おし^おろ^おくな^おければ (7) か^かければ

(39 ページ)

3. (1) pl.) ハ^きンガ^きリー^きに^に来^にた^に日^に本^に人^にを^をい^いろ^いろ^い手^て伝^てつ^てて^てあ^あげ^あれば、日^に本^に人^にの^の友^{とも}だ^{とも}ち^{とも}が
で^でき^でま^ますよ。
- (2) pl.) あ^えな^えた^えは^え絵^えが^え上^{じやう}手^ずです^ずから、服^{ふく}の^のデ^{かい}ザ^いイン^{しゃ}の^の会^つ社^くを^を作^{つく}れば、お^かね^か持^もち^もにな
れ^れま^ますよ。
- (3) pl.) た^さく^ささん^さ魚^{さかな}を^を食^たべ^たれば、せ^たが^た高^{たか}くな^{たか}り^{たか}ま^{たか}すよ。
- (4) pl.) み^{しん}ん^{しん}な^{しん}に^{しん}親^{しん}切^{せつ}に^{しん}す^{しん}れば、ク^{にん}ラ^きス^きで^{にん}人^き気^き者^{もの}にな^{にん}れ^きま^きすよ。
- (5) pl.) 毎^{まい}日^{にち}、一^じ時^{かん}間^ほ早^おく^お起^おき^おて^お勉^{べん}強^{きやう}す^{べん}れば、テ^てス^すト^とで^てい^いて^いん^んが^がと^とれ^れま^ますよ。
- (6) pl.) か^たん^たた^たん^たです^すよ。お^おい^いし^いい^いも^もの^のを^を作^{つく}つ^{つく}て^てみ^みん^んな^なで^で食^たべ^たれば、し^しあ^あわ^わせ^せにな

れますよ。

4. (1) さんかするなら (2) おせば (3) 集まったら

5. (1) ○ (2) × (3) ○ (4) ○ (5) ○

(40 ページ)

1. pl.) 新鮮な野菜やくだもの、お肉を買うなら、中央市場がいいですよ。ハンガリーのおみやげも見つかるにちがいありません。家具や食器を買うなら、イケアがいいですよ。広いし、安いし、きれいだし。そのほか、服や電気せい品を買いたいなら、Arena プラザがいいですよ。ショッピングモールだからたくさんお店があって、便利だと思えますよ。

2. pl.) Eメールで友だちに写真をおくるときは、「添付」をクリックすれば、写真が選べます。一度に5まい送れますよ。

(41 ページ)

3. pl.) わたしは「ケチケメート」という町に住んでいます。ハンガリーの真ん中、ブダペストの南にあります。わたしの町は、「音楽の町」として有名です。作曲家の「コダーイ・ゾルターン」が生まれた所ですよ。町の真ん中に「コシュート広場」があります。ここに来れば、きれいな教会を見ることができし、静かに休めます。だから、わたしはよくここに来て本を読んだり、友だちと話したりします。毎年4月に、「春祭り」があります。コンサートを聞いたり、ハンガリーのおみやげを買ったり、おいしい桃のパールンカを飲んだりできますよ。春になったら、ぜひケチケメートに来てください。

第29課

(46 ページ)

1. (1) さっき終わったところです。
- (2) これからしたくするところです。
- (3) 今、みんなの予定を確認しているところです。
- (4) ちょっと前、やけたところです。

(5) 2～3分前^{ぶんまえ}に出^でたところです。

2. (1) 宿題^{しゅくだい}には名前^{なまえ}を
 (2) 宿題^{しゅくだい}には名前^{なまえ}を^か書かなければならない
 (3) 授業^{じゅぎょう}を休^{やす}む時^{とき}は事務所^{じむしょ}に電話^{でんわ}を
 (4) 授業^{じゅぎょう}を休^{やす}む時^{とき}は事務所^{じむしょ}に電話^{でんわ}を^かかけなければならぬ

(47 ページ)

3. (1) c (2) a (3) b

4. (1) すぐにお茶^{ちゃ}セットを山田^{やまだ}さんにかえ^{かえ}返すようにい^いいます
 (2) 「日本の歌^{にほんのうた}」のCDをコピーして、そのCDを水曜日^{すいようび}に持^もってくるようにい^います
 (3) ペンやはさみなど文房具^{ぶんぼうぐ}を持^もってくるようにい^います
 (4) 花^{はな}を^かかうので、水曜日^{すいようび}までに300フォリントはらうようにい^います

(48 ページ)

1. pl.) A: あの、先生^{せんせい}、今^{いま}、よろしいでしょうか。
 B: はい。何^{なん}ですか。
 A: 来月^{らいげつ}の日本語^{にほんご}の試験^{しけん}について、ちょっとごそ^ごうだんがあるんですが…。
 B: はい。「日本語能力試験^{にほんごのうりよくしけん}」ですね。
 A: はい、そうです。じつは、わたしとアンナさんとゾリさん、いつも3人^{にん}で勉強^{べんきょう}しているんですが、わからない文法^{ぶんぽう}があ^あって…。あと1ヶ月^{げつ}しか時間^{じかん}がありません。先生^{せんせい}、わたしたちに特別^{とくべつ}授業^{じゅぎょう}をしていただけませんか。
 B: 特別^{とくべつ}授業^{じゅぎょう}ですか。う～ん、むずかしいですね。こ^こまったなあ、今月^{こんげつ}はど^どてもいそがしいんです。
 A: すみません、でも、あと1ヶ月^{げつ}しかないんです。1週間^{しゅうかん}に2度^ど、授業^{じゅぎょう}をしていただけませんか。
 B: 1週間^{しゅうかん}に2度^どはできませんが、水曜日^{すいようび}なら、4時^じから5時^じまで大丈夫^{だいじょうぶ}です。
 A: ああ、よかった。それでは、水曜日^{すいようび}、おねがいします。あの、お金^{かね}は…わたしたち、学生^{がくせい}で、ちょっと…
 B: お金^{かね}ですか、そうですね。プリント^{ようい}を用意^{ようい}しますから、コピー代^{だい}をおねがいします。
 A: ありがとうございます。では、アンナさんとゾリさんに、水曜日^{すいようび}の4時^じに

コピー代と教科書を持ってくるように言います。場所は先生の研究室でよろしいでしょうか。

B: はい、大丈夫ですよ。

A: 先生、本当にありがとうございます。よろしくおねがいします。

2. pl.) A: 木下マネージャー、ちょっと、すみません。

B: はい、何ですか。

A: アルバイトの時間のことで、ごそうだんがあるんですが…。

B: はい。何でしょう。

A: 新学期になって、今、時間割を考えているところなんですが、金曜日の午後に、ゼミが入ったんです。その後、剣道部の練習もあるので、金曜日に行けないのですが…。

B: そうですか。でも、今はアルバイトの鈴木さんがやめたから、人が少ないし、こまったなあ。

A: でも、水曜日の午後は来られるし、木曜日は1日中仕事ができます。木曜日は授業がないんです。

B: そうですか。木曜日はランチタイムにたくさん人が来ますから、助かります。木曜日、11時から来られますか。

A: はい。大丈夫です。

B: カトナさんは今学期は来られるかな？

A: うーん。わかりません。

B: もし、学校でカトナさんに会ったら、私に電話するように言ってくれますか。

A: わかりました。つたえておきます。

第30課

(52 ページ)

1. (1) やいた／だれも食べませんでした

(2) 太っていない／しています

(3) 近い／ちこくします

(4) 有名な／おいしくないです

(5) 12時すぎな／バスにおおぜいの人が乗っていました

2. (1) ので／ので／のに

(2) ので／のに／ので

(3) のに／のに

3. (1) アンケートですから、名前^{なまえ}を書かなくてもいいです。

(2) ねつが下^さがりましたから、薬^{くすり}を飲まなくてもいいです。

(3) 今日^{きょう}は家族^{かぞく}がいませんから、料理^{りょうり}を作^{つく}らなくてもいいです。

(4) pl.) 夏^{なつ}休み^{やす}みですから、朝^{あさ}早く^{はや}起き^おなくてもいいです。

(5) pl.) まだ時間^{じかん}がありますから、急^{いそ}がなくてもいいです。

(53 ページ)

4. (1) なくてもかまいません (2) なくてもかまいません (3) なければなりません

(4) なくてもかまいません (5) なくてもかまいません

5. (1) によって (2) について (3) によって (4) によって (5) によって

(54 ページ)

1. A: すみません、ラヨシュさん、今^{いま}よろしいですか。

B: はい、大丈夫^{だいじょうぶ}ですよ。

A: とつぜんすみません。じつは、ラヨシュさんにたのみたいことがあるんですが…。

B: はい、何^{なん}でしょうか。

A: あの、ハンガリーの学生^{がくせい}に書道^{しょどう}の歴史^{れきし}をしょうかいしたり、デモンストレーションをしたりしたいのですが、そのとき、つうやくをしてもらえませんか。わたしはハンガリー語^ごはぜんぜんできませんから。

B: えっ? つうやくですか。私^{わたし}には、ちょっと…。書道^{しょどう}のことはあまり知らないので…。

A: ラヨシュさんなら大丈夫^{だいじょうぶ}ですよ。

B: そうですか。じゃあ、がんばります。でも、デモンストレーションの前^{まえ}に、話^{はな}す内容^{ないよう}と文字^{もじ}の意味^{いみ}を教え^{おし}てもらえたら、安心^{あんしん}なんですけど…。

A: はい、もちろん。あとで、メールでげんこうを送^{おく}ります。書道^{しょどう}のデモンストレーションは週末^{しゅうまつ}にしたいんですが、大丈夫^{だいじょうぶ}ですか。

B: ええと、日曜日^{にちようび}はちょっと…。日曜日^{にちようび}は空手^{からて}のけいこがありますから。土曜日^{どようび}はちょっと遅^{おそ}く起^おきるんですが…。

A: そうですか。では、土曜日の午後おねがいします。1日中じゃなくてもかまいません。

B: 土曜日の午後だけなら、できると思います。

A: わかりました。いろいろそがしいのに、すみません。げんこうで、わからないことがあったら、いつでもれんらくしてくださいね。

B: わかりました。よろしくおねがいします。

(55 ページ)

3. pl.) 今日、ハンガリーの伝統的な行事について紹介します。ブショールーシュや、イースター、死者の日(お盆)、クリスマスなど、地方や季節によって、いろいろな特徴があります。その中でも、わたしが一番好きなイースターについて紹介したいと思います。

イースターは、キリストの復活を祝うお祭りです。イースターの日、わたしたちは家族といっしょに、ハムとたまご、カラーチというパンをたくさん食べます。男の人は、女の人のところに行って、香水や水をかけてあげます。香水や水をかけると、女の人がいつまでも枯れないできれいでいられます。女の方は、お礼に、チョコレートやきれいなイースターの赤い卵をプレゼントします。

ハンガリーは冬が長い国ですから、イースターのときにきれいな花や女の人を見ると、春が来たと感じて、とてもうれしくなります。毎年この時、家族といっしょに過ごす時間も大切にしたいです。

第31課

(58 ページ)

1. (1) pl.) A: あのう、すみません。サーカスはここからどうやって行けばいいですか。

B: サーカスですか。ええと、この道をまっすぐ行って、信号をわたると、次に橋が見えます。その橋をわたると、右にサーカスのテントが見えますよ。

A: まっすぐ行って、橋をわたるんですね。ありがとうございます。

(2) pl.) A: あのう、すみません。映画館はここからどうやって行けばいいですか。

B: 映画館ですか。ええと、この道をまっすぐ行って、信号を左にまがると、銀行が見えます。銀行の交差点を左にまがると、銀行のとなりに映画館がありますよ。

A: 信号を左、次の交差点を左、銀行のとなりですね。ありがとうございました。

(3) pl.) A: あのう、すみません。美術館はここからどうやって行けばいいですか。

B: 美術館ですか。ええと、この道をまっすぐ行って、次の信号を左にまがると、交差点が見えます。その交差点を右に曲がると、左に美術館が見えますよ。

A: まっすぐ行って、信号を左、交差点を右ですね。ありがとうございました。

(4) pl.) A: あのう、すみません。駅はここからどうやって行けばいいですか。

B: 駅ですか。ええと、この道をまっすぐ行って、つぎの信号を左にまがって、まっすぐ行くと、銀行やげき場が見えます。その交差点をわたってまっすぐ行くと、駅がありますよ。

A: 信号を左、そしてまっすぐ行くんですね。ありがとうございました。

(5) pl.) A: あのう、すみません。げき場はここからどうやって行けばいいですか。

B: げき場ですか。ええと、この道をまっすぐ行って、信号を左にまがると、角に銀行が見えます。銀行のむかいはげき場ですよ。

A: まっすぐ行って、信号を左にまがるんですね。ありがとうございました。

(6) pl.) A: あのう、すみません。教会はここからどうやって行けばいいですか。

B: 教会ですか。ええと、この道をまっすぐ行って、信号をわたると、橋が見えます。その橋をわたると、左に教会がありますよ。

A: まっすぐ行って、橋をわたるんですね。ありがとうございました。

2. (1) コーヒーが出ます (2) ふるさを思い出します (3) なってしまうよ
 (4) ねむたくなります (5) 上手になりません (6) 本が読めません
 (7) 食べません (8) 30 パーセント安くなります

3. (1) 事故があったようですね。 (2) 晩ご飯はグヤーシュのようですね。
 (3) お母さんをよんでいるようですね。 (4) 二十まいではたりなかったようですね。
 (5) 地図がふくぎつだったようですね。

(59 ページ)

4. (1) 今年の冬は去年にくらべて、ずいぶんたくさん雪が降った。
 (2) 女性は男性にくらべて、長く生きるというデータがある。

- (3) 子供は大人にくらべて、頭がやわらかい。
 (4) 日本語はハンガリー語にくらべて、文法がかんたんだと思う。
 (5) けいたい電話はむかしにくらべて、かなり便利になった。

5. (1) ○ (2) × (3) × (4) ×

6. (1) pl.) 日本映画のDVDをよく見るようになりました。
 (2) pl.) 230 ぐらい書けるようになりました。
 (3) pl.) 車の運転ができるようになりました。

(60 ページ)

1. pl.) A: あの、すみません。コシュート高校の日本祭りに行きたいんですが、高校の近くまで何で行ったらいいですか。
 B: えーと、コシュート高校ですね。4番か6番のトラムでオクトゴンまで来てください。
 A: そうですか。オクトゴンから高校まで、歩いて行けますか。
 B: はい、歩いてすぐですよ。トラムを降りたら、西駅の方へ向かって歩いてください。一つ目の角を右に曲がります。
 A: 一つ目の角ですね。何か目印になるものはありますか。
 B: そうですね。角に「ピストロ・カフェ」という店があります。その角を右に曲がって、50メートルぐらい歩いたら「オクトゴン・イロダ」という建物が見えます。高校はそのとなりですよ。
 A: えっと…すみませんが、この地図で教えていただけませんか。
 B: あ、はいはい。えーっと。ここをまっすぐ行って、このかどを右。それから、この建物の右側のエレベーターですね。右に曲がってからは、50メートルくらいです。
 A: はい。わかりました。
 B: 近いですから、すぐわかりますよ。わからなくなったら、また、だれかに聞いてください。
 A: そうですね。どうもありがとうございました。たすかりました。
2. (1) 食べません。「すきちゃん」 = 「好きじゃない」
 (2) 行きません。知らない人が多いし、お金もあまりないから。
 「いかへん」 = 「行かない」

(3) いいネクタイです。「なんぼ」 = 「いくら」

(61 ページ)

3. pl.) ハンガリーにも地方によって方言があります。北ハンガリー、西ハンガリー、東ハンガリー、南ハンガリーなど、それぞれの地方で独特な方言が今でも使われています。これらの方言は、標準語と比べて文法的にはそれほど大きな違いはありませんが、ことばや発音に違いがあります。たとえば、じゃがいもは、標準語では *burgonya*、または *krumpli* と言いますが、東ハンガリーやトランシルヴァニア地方では *pityóka* と言います。発音については、地方によって母音が変わることがあります。私は方言はハンガリー語の豊かさを表すものなので、いつまでも大切にしたいと思います。

第 32 課

(64 ページ)

1. (1) 明日雨が降っても、つりに行きますか。
 - (2) 目ざまし時計をかけても、ねぼうしてしまいます。
 - (3) 小さい子どもでも、「1+1」はわかるよ。
 - (4) ドーラさんが来なくても、試験は始めなければなりません。
 - (5) つらくても、途中であきらめてはいけません。
 - (6) あまりおいしくなくても、あなたが作ってくれた料理は全部食べます。
 - (7) まずしくても、家族や友だちがいれば、しあわせです。
2. (1) とってはいけないことになっています。
 - (2) さわいではいけないことになっています。
 - (3) 後で通ることになっています。
 - (4) あいさつをすることになっています。
3. (1) Úgy alakult, hogy tovább megyek mester kurzusra.
 - (2) Ha sikerül az írásbeli, akkor a következő lépésben egy szóbeli jön.
 - (3) Az a szabály, hogy ki kell kapcsolni a mobiltelefont.
 - (4) Úgy döntöttem, a haikuról írom a szakdolgozatomat.
 - (5) Igyekszem minden nap legalább tíz féle zöldséget fogyasztani.

(65 ページ)

4. (1) ばかり (2) しか (3) ばかり (4) しか (5) だけ (6) しか (7) ばかり

5. (1) pl.) A: 民族いしょうを着ることがありますか。

B: いいえ、あまり着ません。

A: そうですか。どんな時に着ますか。

B: けっこんしきの時、着ることがあります。

(2) pl.) A: うそをつくことがありますか。

B: はい、ときどきつきます。

A: そうですか。どんな時につきますか。

B: デートの時間に間に合わなかった時、うそをつくことがあります。

(3) pl.) A: ダンスをおどることがありますか。

B: はい、よくおどります。

A: そうですか。どんな時におどりますか。

B: 友だちの家でパーティがある時、おどることがあります

(4) pl.) A: レストランで食事することがありますか。

B: はい、ときどき食事します。

A: そうですか。どんな時にしますか。

B: 家でごはんを作りたくない時、レストランで食事することがあります。

(5) pl.) A: 日本語の勉強をしたくないことがありますか。

B: はい、ときどきしたくないです。

A: そうですか。どんな時にしたくないですか。

B: とてもつかれている時、したくないことがあります。

(6) pl.) A: 家で日本料理を作ることがありますか。

B: はい、よく作ります。

A: そうですか。どんな時に作りますか。

B: インターネットで新しい日本料理のレシピを見つけた時、作ることがあります。

(7) pl.) A: ファストフードを食べることがありますか。

B: いいえ、あまり食べません。

A: そうですか。どんなときに食べますか。

B: とてもいそがしい時、食べることがあります。

6. (1) pl.) 新しい時計を買ってくれました。

- (2) pl.) ^{にほん だいがく しょうがくきんりゅうがくせいしけん う} 日本の大学の奨学金留学生試験を受けます。
- (3) pl.) ^{にほん だいがく けんきゅう} 日本の大学で研究する
- (4) pl.) ^{くるま か} 車を買う
- (5) pl.) ^{ふじさん} 富士山にのぼるために、^{まいにち} 毎日トレーニングします。

(66 ページ)

1. Jelentkezési határidő: ^{し きり} 締め切り Írásbeli vizsga: ^{ひつきしけん} 筆記試験
Tájékoztató: ^{れんらく} 連絡 Interjú: ^{めんせつ} 面接

(67 ページ)

3. 12. pl.) ^{しゃかいがく まち むら} 社会学: 日本の町おこしや村おこしの^{ぐたいてき れい けんきゅう} 具体的な例を研究したいから
- ^{せいじがく} 政治学: 日本の^{せいじ} 政治では、^{か そ か もんだい} 過疎化の問題をどう考えているか知りたいから
13. pl.) ^{わたし} 私は日本に^{りゅうがく} 留学して、^{しゃかいがく べんきょう} 社会学を勉強したいと思^{おも}っている。ハンガリーでは^{いま} 今、日本と^{おなじ} 同じように「^{か そ か もんだい} 過疎化」が^{もんだい} 問題になっている。日本では、^{まちおこしや村おこしがさかんだと聞いた} 町おこしや村おこしがさかんだと聞いた。このような町おこしや村おこしの^{ぐたいてき れい} 具体的な例を^{しゃかいがく まな} 社会学で^{かんが} 学びたいと考^{かんが} えている。
14. pl.) 日本はアニメやマンガなどの^{あたらしい ぶんか} 新しい文化でも^{ゆうめい} 有名だが、^{でんどうてき ぶんか} 伝統的な文化も^{たいせつ} 大切にしている国だと思^{おも}っている。
15. pl.) ^{わたし} 私は日本で^{か そ か もんだい べんきょう} 過疎化の問題を勉強して、^{おなじ もんだい も} 同じ問題を持^もっているハンガリー一の^{ちほう} 地方のために^{はたら} 働きたいと^{かんが} 考^{かんが} えている。

第 33 課

(72 ページ)

1. (1) pl.) かぜをひいたようです
- (2) くさっているようです
- (3) pl.) じゅんぴができたようです

- (4) pl.) わいたよう
 (5) pl.) 知らないようですよ
 (6) うそのような
 (7) ジャムのようですね

2. (1) A : のどがちょっといたい。かぜをひいたみたい。
 B : あたたかいものを飲んだほうがいいよ。
 (2) A : このおかずはくさっているみたい。へんなにおいがるから。
 B : 本当? きのうのうれいぞうこに入れなかったから…。
 (3) A : 会議のためにパソコンをじゅんびしておかなければ。
 B : もうじゅんびができたみたい。さっき山川さんがパソコンを出していたから。
 (4) A : お風呂はもうわいた?
 B : うん、もうわいたみたい。入れると思うよ。
 (5) A : あの人の名前、知ってる?
 B : うーん、だれも知らないみたい。みんな、はじめて会うと言っていたから。
 (6) A : 日本ではくさった大豆を食べるの? うそみたいな話だね。
 B : でもヨーグルトもくさった牛乳でしょう。それと同じだよ。
 (7) A : このソース、とてもあまいね。
 B : うん、ジャムみたいだね。

3. (1) 私はあの人が、顔を見たくないぐらいきらいです。
 (2) この道は、うるさいぐらい車が多いです。
 (3) がまんができないぐらい気分がわるかったです。
 (4) はじめて一人ぐらしをした時、なきたいぐらいさびしかったです。
 (5) 妹はテストでしっばいして、かわいそうぐらい元気がありませんでした。

(73 ページ)

4. (1) におい (2) 味 (3) かおり (4) 音 (5) 声

5. (1) pl.) むずかし (2) pl.) やさし (3) pl.) よさ (4) pl.) 楽し (5) pl.) 寒

(74 ページ)

1. pl.) A : この「そば」って色が黒いね。にがそうだなあ。

B: にながくないよ。いいにおいがして、とてもおいしいよ。

(75 ページ)

3. テーマ 1

pl.) 「グヤーシュ」は、ハンガリーで生まれました。農業をしていた人々が、外で昼ごはんを食べられるように、「ポグラーチ」という大きい釜を外に置いて、その中でグヤーシュを作りました。これがグヤーシュのはじまりです。牛肉、ロード、パプリカ、トマト、じゃがいも、たまねぎを使います。ハンガリー以外にも、ウィーン風グヤーシュ、トランシルヴァニア風グヤーシュなど、いろいろな種類があります。日本に伝わったら、「日本風グヤーシュ」もできるかもしれません。

第 34 課

(78 ページ)

1. (1) 先生、知り合いによると、来月から BKV が定期けんを値上げするそうですよ。
 - (2) パクさん、新聞によると、チェスの世界大会で 16 さいの少年がゆうしょうしたそうだよ。
 - (3) お母さん、専門家によると、今年のインフルエンザはとてもきけんだそうですよ。
 - (4) ゲルゲイさん、きのう読んだ本によると、日本ではトカイワインはとてもめずらしいそうだよ。
 - (5) 先ばい、ラジオによると、きのう大阪の気温は 38 度だったそうですよ。
2. (1) はい、いるらしいですよ
 - (2) いいえ、ないらしいですよ
 - (3) はい、好きらしいですよ
 - (4) ドーラさんらしいですよ
 - (5) 来月号で読むことができるらしいですよ

(79 ページ)

3. (1) 楽そう (2) 高いそう (3) かゆそう (4) 無理だそう (5) よさそう

4. pl.) A: B さん、12 月 9 日にアルゼンチンタンゴフェスティバルがあるそうだよ。

- B: へえ。おもしろそう。会場はどこ？
- A: 都スターホールらしいけど、知っている？
- B: さあ、聞いたことないなあ。
- A: 都バス停の近らしいよ。
- B: 料金はいくら？タンゴフェスティバルって、高そうだなあ。
- A: 一番高いのは 5500円で、一番安いのは 3000円。あ、学生席もあるらしいよ。学生は 2000円みたい。
- B: へえ。いいね。「マルコ・ミアンテ」も来るみたいだし、行ってみようか。
- A: うん！

(80 ページ)

1. pl.) A: はい。消防しよです。火事ですか。救急ですか。
- B: 救急です。
- A: どうしましたか。
- B: 友だちが、晩ごはんの後しばらくして、おなかがいたくなつたそうです。それに、はき気どめまいもするそうです。食あたりかもしれません。
- A: わかりました。具合が悪い人の年れいと性別は？
- B: 18 さい、女性です。
- A: 場所はどこですか。
- B: はたご町の南旅館です。
- A: はたご町の南旅館ですね。あなたの名前と電話番号を教えてください。
- B: コバーチ・アンドラーシュです。電話番号は、080-0325-1209 です。
- A: わかりました。すぐに行きます。
2. 1.) pl.) 日本語をならつたことがなくても、日本語キャンプにさんかできるらしいです。
- 2.) pl.) 書道の道具は、かりられるらしいです。
- 3.) pl.) すしと書道のクラスだけ、出ることができらしいです。
- 4.) pl.) 特別な材料がひつようらしいですから、家で作るのはむずかしそうです。

(81 ページ)

3. pl.) A: 日本語のクラスはおもしろそうだね。先生はどんな人かな。
- B: 見て。先生はとてもやさしそうだよ。日本語の勉強のほかに何をするのかな。

A: 書道^{しよどう}やすしのクラスがあるみたいだよ。このまきずし、本当^{ほんとう}においしそうだね。

B: うん、食べ^たたいな。よし、今年^{ことし}は日本語^{にほんご}キャンプにさんかしよう!

第 35 課

(84 ページ)

1. (1) 手^てをつないだまま (2) 海^{うみ}にしずんだまま (3) いすにすわったまま
 (4) くつをはいたまま (5) 漢字^{かんじ}をおぼえないまま (6) じつげんしないまま
 (7) 白^{しろ}いまま (8) あついまま (9) 不便^{ふべん}なまま (10) むかしのまま
 (11) 生^{なま}のまま
2. (1) 父^{ちち}にごはんのたき方^{かた}を聞いてみます。
 (2) キャンプ場^{じやう びと}の人にゴミのすて方^{かた}を聞いてみます。
 (3) 日本人^{にほんじん}の友だち^{とも}にボートのこぎ方^{かた}を聞いてみます。
 (4) pl.) すずきさんにキャンプ場^{じやう}の予約^{よやく}のしかた^{かた}を聞いてみます。
 (5) pl.) セリーヌさんに馬^{うま}の乗り方^{の かた}を聞いてみます。
 (6) 兄^{あに}にテントの立て方^{た かた}を聞いてみます。
 (7) ゲルゲイさんにテントのしまい方^{かた}を聞いてみます。
 (8) pl.) かんり人^{にん}さんに火^ひの消し方^{け かた}を聞いてみます。
 (9) pl.) 先生^{せんせい}にもうしこみ用紙^{ようし}の記入^{きにゆう}のしかた^{かた}を聞いてみます。
 (10) pl.) ホセさんにキャンプ場^{じやう}への行き方^{い かた}を聞いてみます。
3. (1) すみません。セリーヌさんの代わり^かにフランスの文化^{ぶんか}を説明^{せつめい}してくれませんか。
 (2) すみません。あいさんの代わり^かに日本の歌^{にほん うた}を教え^{おし}てくれませんか。
 (3) すみません。パクさんの代わり^かに先生^{せんせい}にれんらくしてくれませんか。
 (4) すみません。新一^{しんいち}さんの代わり^かにギターをひいてくれませんか。
 (5) すみません。ホセさんの代わり^かに荷物^{にもつ}を運^{はこ}んでくれませんか。
 (6) pl.) すみません。わたしの代わり^かに車^{くるま}を運^{うんでん}転^{てん}してくれませんか。

(85 ページ)

4. (1) カセットテープに代^かわって、今^{いま}は CD で会^{かい}話^わを聞^きくようになりました。

Kazetta helyett manapság (már) CD-n hallgatjuk a párbeszédet.

(2) ビデオに代わって、DVDをよく使います。

Videó helyett (inkább) DVD-t használunk.

(3) 紙の辞書に代わって、電子辞書がふえてきました。

Papíralapú szótárak helyett (manapság) az elektronikus szótár terjedt el.

(4) 手紙に代わって、メールを書いたり、インターネットでチャットするほうが多くなりました。

Levelek helyett (manapság) gyakrabban írunk e-mailt és csetelünk.

(5) 教室での勉強に代わって、インターネットを使って家で授業をうけているそうです。

Úgy tudom, hogy tantermi órák helyett interneten keresztül, otthon vesz órákat.

5. (1) pl.) インターネットの利点は、便利な情報をいつでも交換できることです。

はんたいに、欠点は、ひみつの情報が流れてしまうきけんがあるところです。

(2) pl.) けいたい電話の利点は、いつでもどこにいても相手と話せることです。はんたいに、欠点は、いつでもどこにいても、話したくないときも電話がかかってくるということです。

(3) pl.) ハンガリー料理のいいところは、おいしいところです。はんたいに、よくないところは、味がこくてカロリーが高いところです。

(4) pl.) 私の学校の長所は、外国人の友だちがたくさんできることです。はんたいに、短所は、友だちが国に帰ってしまうときさみしいところです。

(5) pl.) 日本のいいところは、しぜんがゆたかなところです。はんたいに、悪いところはぶっかが高いところです。

(6) pl.) 私の長所は、始めたことはさいごまでやるところです。はんたいに、短所は、すぐにおこるところです。

6. (1) に／の (2) の／が (3) の／で (4) に／に (5) を／に (6) を／と

(87 ページ)

3. pl.) わたしは、日本語をべんきょうするとき、ときどきインターネットを使います。辞書を使ったり、日本の場所やものをさがしたりできるので、とても便利です。

インターネットを使って日本語を勉強することの長所は、先生や友だちがいなくても、すぐに調べたいことが調べられるところです。反対に、短所は、一人の世界に入ってしまったら、ほかの人と直接コミュニケーションをしない

ところです。教室で日本語を勉強するときは、教室の友だちと楽しく勉強できるところがいいです。でもはнтаいに、短所は、人が多いですから、あまり先生にしつもできないところです。

わたしは日本語を勉強して、日本語のつうやくになりたいです。つうやくは、日本の文化や習慣の正しいちしきを持たなければならないし、人と上手にコミュニケーションできなければなりません。ですから、これからもたくさん日本のイベントにさんかしながら、勉強したことをためして勉強をつづけています。

第36課

(90 ページ)

1. (1) このごっしは、毎月15日に発行されます。
 - (2) 3年後に、ブダペストで水球の世界大会が行われます。
 - (3) 平安時代に源氏物語が書かれました。
 - (4) 世界中にハンガリーのワインが輸出されています。
 - (5) 雨がふったので、試合は来週にえんきされました。
 - (6) この店で、外国のめずらしいものが売られています。
 - (7) 来年、大聖堂が建てなおされます。
 - (8) 2016年のオリンピックは、ブラジルのリオデジャネイロがえらばれました。
 - (9) アメリカから日本に麦が多く輸入されています。
 - (10) 美術館からピカソの絵がぬすまれました。
2. (1) 関東地方から東北地方にかけて地震がありました。
 - (2) 今晚から明日の朝にかけて大雨になるでしょう。かみなりになるかもしれません。
 - (3) 九州から四国にかけて台風のひがいはありました。
 - (4) 3月から4月にかけて日本はとても気候がいいです。
 - (5) 十八世紀から十九世紀にかけてイギリスで産業が発展しました。
3. (1) でも (2) ばかり (3) とか (4) ぐらい (5) しか

(91 ページ)

- 4-1. (1) ○ (2) × (3) ○ (4) × (5) ○ (6) ×

- 4-2. (1) 私の町はセゲドです。「日向の町」^{ひなた}とも呼ばれています。
- (2) むかしはデブレツェンに首都^{しゅと}がありました。
- (3) 私の町は12世紀^{せいき}から18世紀^{せいき}にかけて発展^{はってん}しました。
- (4) セゲドには「セゲド大聖堂^{だいせいどう}」があります。セゲド大聖堂^{だいせいどう}は1913年から1930年にかけて建てられました。
- (5) セゲドでは夏^{かんこうきゃく}に観光客が多く来ます。野外劇場^{やがいげきじょう}を見に来る人が多いです。
- (6) ハンガリーのレストランは、夏、オープンカフェになります。フルーツスープがメニューに入ります。
- (7) 京都^{きょうと}とブダペストは、川^{なが}が流れているところや観光客^{かんこうきゃく}が多いところがあります。

(92 ページ)

1. pl.)ニチハン・ハラペコパーティのお知らせ

ハンガリーに住む日本人^{す にほんじん}のみなさん！！

以下の日程^{いか にってい}で「ニチハン・ハラペコパーティ」を行います。

このパーティは、ハンガリーで日本語^{にほんご}を勉強^{べんきょう}する高校生^{こうこうせい}・大学生^{だいがくせい}と一緒に生活^{せいかつ}する日本人^{にほんじん}が、一緒に料理^{いっしょ りょうり}を紹介^{しょうかい}して、作^{つく}って、食^たべる料理交流^{りょうりこうりゅう}クラブです。

第一回^{だいいっかい}は「ボグラーチ・グヤーシュ」^{つく}を作ります。おなかをペコペコにして、ぜひきてください。

日時^{にちじ}：2012年9月17日（土）^{ねん がつ にち ど}

時間^{じかん}：10:00～14:00

場所^{ばしょ}：ドナウ公園^{こうえん}

1XXX Budapest, Duna u. 21

内容^{ないよう}：10:00-12:00 料理^{りょうり}

12:00-14:00 食事^{しょくじ} フリートーク

会費^{かいひ}：500Ft

連絡先^{れんらくさき}：ミズノ・タマーシュ

メール (tamas@harapeko.com) または

携帯^{けいたい} (06-20-XXX-XXXX) ^{れんらく}にご連絡^{れんらく}ください。

*ドナウ公園^{こうえん}の場所^{ばしょ}が分からないかたは、9:45に地下鉄^{ちかてつ} Duna Park 駅^{えき}にお集まり^{あつ}ください。学生^{がくせい}がおむかえに行きます。

(93 ページ)

2. pl.) 司会者のことば

みなさん、今日はおいそがしいところわざわざ来ていただき、ありがとうございます。これから、「第一回ニチハン・ハラペコクラブ」を始めたいと思います。

私は、ドナウ高校3年ミズノ・タマーシュともうします。今日は司会をします。よろしくおねがいします。今日はみんなで、ボグラーチ・グヤーシュを作ります。

これは、外でキャンプをする時によく作ります。材料は、牛肉、たまねぎ、パプリカ、じゃがいも、塩、コショウ、スパイスの *köménymag* (キャラウェイシード) です。作り方は、まず、玉ねぎをみじん切りにして、肉、じゃがいもなどやさしく小さく切ってください。次に、油で玉ねぎと肉をいためてください。そのあと、パプリカをたっぷり入れて水も入れてください。肉がやわらかくなってから他のやさしいスパイスも入れて、ボグラーチの中でよくにこんでください。かんたんですね。わからないことがあったら、ドナウ高校の学生が説明しますから聞いてください。それでは、いっしょにやってみましょう。材料や道具はこのテーブルの上にありますから、自由に使ってください。

第 37 課

(98 ページ)

1. (1) ドーラさんは先生にしかられました。
 - (2) ドーラさんはれいかさんによばれました。
 - (3) 息子はお父さんに注意されました。
 - (4) パクさんはあいさんに家に招待されました。
 - (5) ドーラさんは山下先生におくれた理由をたずねられました。
 - (6) 新一さんはゲルゲイさんに道を聞かれました。
 - (7) ホセさんはセリーヌさんに自転車の修理をたのまれました。
2. (1) 弟に電子辞書をこわされました。
 - (2) となりの人に足をふまれました。
 - (3) 犬に手をかまれました。
 - (4) 赤ちゃんに大好きな服をよごされました。
 - (5) 母にまんがを全部すてられました。

- (6) 女おんなの人ひとにかたをおされました。
 (7) クラスメイトに妹いもうとがいじめられました。

3. pl.)

- (1) A: どうしたんですか。
 B: 弟おとうとに電子辞書でんしじしょをこわされたんです。
 A: 本当ほんとうですか。
 (2) A: どうしたんですか。
 B: となりの人ひとに足あしをふまれたんです。
 A: 大丈夫だいじょうぶですか。
 (3) A: どうしたんですか。
 B: 犬いぬに手てをかまれたんです。
 A: 大丈夫だいじょうぶですか。
 (4) A: どうしたんですか。
 B: 赤ちゃんあかに大好きな服だいすをよごされたんです。
 A: 大変たいへんですね。
 (5) A: どうしたんですか。
 B: 母ははにまんがを全部ぜんぶすてられたんです。
 A: 本当ほんとうですか。
 (6) A: どうしたんですか。
 B: 女おんなの人ひとにかたをおされたんです。
 A: 大丈夫だいじょうぶですか。
 (7) A: どうしたんですか。
 B: クラスメイトに妹いもうとがいじめられたんです。
 A: 本当ほんとうですか。

4. (1) 急きゅうに雨あめに降ふられて、私わたしはずぶぬれになりました。
 (2) たくさんの人ひとに來こられて、私わたしはすっかりつかれてしまいました。
 (3) 小鳥ことりに死しなれて、私わたしは一週間いっしゅうかんないていました。
 (4) 近所きんじょの人ひとにさわがれて、私わたしは勉強べんきょうできませんでした。

(99 ページ)

5. pl.) 日本にほんの食たべ物ものは生なまものが多いおおいと言いわれています。
 pl.) 日本にほんの家いえは、冬ふゆが寒さむいと言いわれています。

pl.) 日本の自然は素晴らしいと言われています。

pl.) 日本人は親切だと言われています。

6. (1) pl.) 日本人の友だちの

(2) pl.) カロリーのひくい料理の

(3) pl.) 私たちの生活は便利になりました。

(4) pl.) テストに合格しました。

(5) pl.) たくさん休みをもらった（おかげで）元気になりました。

7. (1) 2時ごろ、一丁目のフレンドスーパーの前。

(2) 4時ごろ。

(3) 赤いシティサイクル

(4) かぎはかけましたが、チェーンはかけませんでした。

(5) 新一さんに電話をしました。

(6) 自転車のぼうはんとうろくカードを持って、交番に行こうと言いました。

(7) 自転車のことを説明して、住所と名前を書きました。

(8) 自転車が見つかったられんらくすると言いました。

8. 一丁目のフレンドスーパーの前／4時ごろ／ありませんでした／ぬすまれてしまったの／かけてありました／かけるのをわすれてしまった／新一くん／電話しました／ぼうはんとうろくカードを持って交番に行く／ぼうはんとうろくカードと自転車の写真／住所と名前／自転車がみつかったられんらくする

(100 ページ)

1. pl.) すぐに、駅の中の「交番」に行ったほうがいいです。大切なものをぬすまれないように、貴重品はいつも服の下のポケットに入れておかなければなりません。

2. pl.) 日本人の友だちは、トラムの中ですりの被害にあいました。さいふをぬすまれてしまったのです。

友だちは一人で、こんでいるトラムに乗ってました。トラムの中は前も後ろも人がいっぱい、ほとんど動けませんでした。ていりゅうじよに止まった時、たくさん人がおりましたので、また自由に動けるようになりました。そのあとでリュックを見たとき、さいふだけがぬすまれてました。

ひと なか きちようひん ちゅうい
 人ごみの中ではとくに貴重品に注意しなければなりません。

第 38 課

(104 ページ)

1. (1) 高校生のうちに (2) 明るいうちに (3) 朝、しずかなうちに
 (4) 赤ちゃんがねているうちに (5) おぼえているうちに
 (6) おそくならないうちに (7) 知らないうちに
 (8) 子どもが帰らないうちに

2. (1) 先ばいはもう帰られました。 (2) この商品を試されましたか。
 (3) 社長は今日は出かけられませんでした。
 (4) お母さんは何時ごろもどられますか。
 (5) 早く計画を立てられたほうがいいですよ。
 (6) どこへ行かれるんですか。 (7) 木村さんはもう着かれています。
 (8) 山下先生はいつ来られますか。 (9) 小林先生は明日出発されます。
 (10) そろそろ休けいされませんか。

3. (1) お生まれになりました (2) お話なさいます (3) おわすれになら
 (4) ご利用なさいます (5) ご到着なさいます

4. (1) れつの一番後ろにおなびください。
 (2) 午前9時にロビーにお集まりください。
 (3) 説明書の最後のページをお読みください。
 (4) 白線の内側に／までお下がりください。
 (5) この紙を一まいずつお取りください。
 (6) 後でここにおもどしてください。
 (7) 一番上に住所と氏名をご記入ください。
 (8) 来週までにこの書類をご提出ください。

(105 ページ)

5.

	そんけい語		そんけい語
行きます	いらっしゃいます	言います	おっしゃいます

来ます	いらっしゃいます	見ます	ごらんになります
います	いらっしゃいます	知っています	ごぞんじです
食べます	めしあがります	くれます	くださいます
飲みます	めしあがります	します	なさいます

6. (1) くださ (2) おっしゃいます (3) いらっしゃった (4) なさっている
 (5) いらっしゃるん (6) いらっしゃっ (7) ごらんになる
 (8) めしあがりません (9) おめし上がり

(106 ページ)

1. pl.)

レーカ：もしもし、とつぜん電話してすみません。私、コヴァーチ・レーカともうしますが、かおりさんの携帯ででしょうか。

かおり：はい。かおりと申します。

レーカ：はじめまして。昨日、けいじばんを見て、かおりさんが日本語を勉強しているハンガリーの学生をさがしていらっしゃると知りました。ハンガリー語との交換授業でもいいと書いてありましたが、いっしょに交換授業をすることができのでしょうか。

かおり：もちろんです。お電話ありがとうございます。レーカさんは、時間はいつがいいですか。

レーカ：そうですね。私は午後5時からなら、何曜日でも大丈夫です。

かおり：私は月曜日と水曜日と金曜日なら大丈夫ですが…。では、水曜日5時からでもかまいませんか。

レーカ：はい。大丈夫です。

かおり：それでは、今週水曜日5時に図書館の喫茶店で会いましょうか。

レーカ：そうしましょう。では、よろしくおねがいします。

かおり：こちらこそ、よろしくおねがいします。しつれいします。

2. pl.)

A：早川さんは今までどのくらいハンガリー語を勉強しましたか。

B：半年ぐらいです。留学で1年間ハンガリーにいた予定ですが、ここにいるうちに、たくさんハンガリー人の友だちを作りたいんです。

A：わかりました。教科書は持っていますか。

B：いいえ。前に勉強したときは、先生が教科書をコピーしてもらってくださ

っていました。何かいい教科書があれば、持ってきてくださいますか。

A：わかりました。レッスンは週に何回しましょうか。

B：できれば、週二回、火曜日と木曜日の午前におねがいしたいんですが…。

A：木曜日の午前は大丈夫ですが、火曜日の午前は授業があるんです。火曜日の午後2時からなら大丈夫なんです。

B：では、火曜日は2時から、木曜日は10時から、1時間半ぐらいでどうでしょうか。

A：はい、大丈夫です。

B：場所は、わたしの家で大丈夫ですか。

A：はい、もちろんです。

B：ところで、アルバイト代なんですが、いくらにしましょうか。

A：そうですね…。いつも、だいたい時給4000フォリントで教えていますが…。

B：4000フォリントですか…。前は3500フォリントだったんですが…。

A：そうですか…。プリントもときどき印刷しますので、できれば4000フォリントがいいんですが…。

B：そうですか。はい、わかりました。それでは4000フォリントでおねがいします。

A：はい、ありがとうございます。こちらこそ、よろしくおねがいします。

第39課

(110 ページ)

1. (1) 着物は歩きにくいです。 (2) インフルエンザはなおりにくいです。

(3) 春の天気はかわりやすいです。 (4) この辞書は使いやすいです。

(5) 手書きの文字は読みにくいです。 (6) 私の町は住みやすいです。

2. (1) ふくぎつすぎ (2) かんたんすぎ (3) 高すぎ (4) ふえすぎ

(5) 信用しすぎ (6) 長すぎる (7) 多すぎる

3. (1) おつけします (2) おいれします／お持ちします (3) お手伝いし

(4) ご招待し (5) お送りします (6) ごしょうかいします

(7) ご案内します

4. お電話、ご住所、おひま、お元気、ご両親、ご兄弟、お名前、これんらく、

ご家族、お部屋、お食事、おるす、ごそうだん、ご研究、お手紙、お洋服、
 ご準備、お返事、お写真、ご旅行、ご病気、お料理、お仕事

(111 ページ)

5.

行きます	まいります／うかがいます	言います	もうします
来ます	まいります／うかがいます	見ます	はい見します
います	おります／ございます	知っています	ぞんじております
食べます	いただきます	あげます	さしあげます
飲みます	いただきます	もらいます	いただきます
聞きます	うかがいます	します	いたします
訪問します	うかがいます	会います	お目にかかります

6. (1) c (2) c (3) c (4) b (5) c

7. います→おります、くれて→くださって、言います→申します、
 いますか→いらっしゃいますか、むかえた→おむかえした、
 見ました→はい見しました、着物→お着物 話した→お話しなされた、
 友だち→お友だち、聞き→うかがい、います→おります、
 めいわく→ごめいわく、人→方、連絡先→ご連絡先、
 もらえませんか→ただだけませんか、人→方、訪問したい→おうかがいしたい、
 します→いたします、体→お体

第 40 課

(116 ページ)

- (1) いくら安くても (2) 何 (が) あっても (3) いったずねても
 (4) 何／どれ (を) えらんでも (5) だれ (が) リーダーでも
 (6) どこ (に) にげても
- (1) すべりそう (2) あたたくくなりそう (3) 売れそう (4) 切れそう
 (5) 太りそう (6) 死にそう (7) おくれそう (8) 始まりそう
- (1) 作るそう (2) くずれそう (3) 出そう (4) おちそう (5) やむそう

(6) あったそう

(117 ページ)

4. (1) d (2) c (3-1) b (3-2) c (3-3) c

5-1. (1) a (2) a (3) a (4) b (5) b (6) b (7) c (8) c

5-2. a

第 41 課

(124 ページ)

1. (1) まるで絵えのようですね。
 (2) まるでハンガリーのクリスマスののようですね。
 (3) まるでうちゅうににいるようですね。
 (4) まるで絵本えほんの中なかから出でてきたようですね。
 (5) まるで本当ほんとうの家族かぞくのようですね。
2. (1) もつづいているんですか。 (2) も使つかわれているんですか。
 (3) も旅行りょこうするんですか。 (4) もかかるんですか。
 (5) もおかわりしたんですか。 (6) もハンガリー人じんなんですか。

(125 ページ)

3. (1) 帰かえる (2) なく (3) ねる (4) あきらめる (5) がまんする (6) いのる
 (7) 世話せわする
4. (1) アンナさんは毎日まいにち一生いっしょうけんめい勉強べんきょうしただけあって、むずかしい試験しけんに合格ごうかくしました。
 (2) 林はやしさんは子どもこのころイギリスすに住すんでいただけあって、母語ぼごのように英語えいごを話はなします。
 (3) 大阪おおさかは日本にほんの第二だいにの都市としだけあって、人口じんこうが多いおおし、にぎやかです。
 (4) 両親りょうしんともに音楽家おんがくかだけあって、あの子こはピアノのさいのうがあります。
 (5) この製品せいひんは高たかいだけあって、品質ひんしつがとてちいもいいです。
5. pl.) 赤ちゃんあかの手ては、まるでもみじちいのように小さいです。

pl.) 12月がつなのにとてもあたたかくて、まるで春はるのようです。

第 42 課

(130 ページ)

1. pl.) 家族かぞく / 新しい小説あたらししやうせつを書いている時か / 数学すうがくの宿題しゅくだいをしている時とき

2. (1) わすれられない日ひです (2) むずかしいものです

(3) 草花くさばなをそだてることです。 (4) いいあそび友ともだちです

3. (1) 北極ほっきょくの冬ふゆから見ると、ハンガリーみはあたたかい。

(2) 五さいごの子こどもから見ると、高校生こうこうせいは大人おとなだ。

(3) ハンガリー人じんから見ると、日本人にほんじんの「おじぎ」は不思議ふしぎなところがある。

(4) きしあいのうみの試合しあいのけみっかから見ると、オリンピックで金メダルきんがとれるかもし
れない。

(5) 「休館きゅうかん」の文字もじから見ると、今日きょう図書館としょかんは休みやすのようだ。

4. (1) について (2) にとって (3) について / によって (4) にかけて

(131 ページ)

5. (1) a (2) b (3) a

6. (1) 10 パーセント

(2) 春はるが来たきことを知らせてくれる花はな、きねんひの日の思い出おもにのこる花はな

(3) さくらのきせつになると、みんなさくらのことばかり考かんがえてしまうこと。

(4) pl.) 「桜坂さくらざか」福山雅治ふくやまさはる 「SAKURA ドロップス」宇多田ヒカルうただ

(132 ページ)

1. (1) ありません。

(2) 先に結婚けっこんすることが決きまっているのはしぜんではないと思おもっている。

(3) まるでネットショッピングで結婚相手けっこんあいてをえらぶように感かんじたから。

第 43 課

(136 ページ)

1. (1) いそげ。 (2) 金を出せ。 (3) こっちにおいで。 (4) 止まれ。
 (5) 入るな。 (6) ごみをすてるな。 (7) さわるな。 (8) 車を止めるな。
2. (1) pl.) 小鳥のように (2) pl.) 日本人のように (3) pl.) 大阪のような
 (4) pl.) キルビルのように／のような (5) pl.) 北海道のように／のような
3. (1) ように (2) ように (3) ために (4) ように (5) ために
4. (1) pl.) 毎日日本人の友だちと話すようにしています。
 (2) pl.) 辞書で調べるようにしています。
 (3) pl.) 早く起きるようにしています。
 (4) pl.) 大切なものを体からはなさないようにしています。

(137 ページ)

5. (1) c (2) a (3) e (4) d (5) b
6. (1) れいに書いてあるとおりに (2) 祖母に習ったとおりに (3) 医者に言われた
 とおりに (4) 先ばいに教えてもらったとおりに
7. (1) b (2) b (3) c

(138 ページ)

1. pl.) わたしは、ことばをおぼえる時、何度もくり返しておぼえるようにしていま
 す。新しいことばを聞いたり読んだりしたときは、すぐに「単語帳」にメモ
 して、わすれないようにします。そのとき、例文をいっしょに書くとおぼ
 えられます。新しいことばや漢字を紙に書いて、トイレのかべにはるのも
 いい方法です。
2. pl.) わたしは、アニメは日本語の勉強にやくに立つと思います。それには二つ、
 理由があります。第一に、わたしはアニメが大好きなので、分からないことば
 や表現があっても、何時間でも楽しく勉強できるからです。みなさんも自分が
 好きなことは、何時間でも続けることができるでしょう。第二に、じっさいに

にほん はな しぜん べんきょう きょうかしょ
 日本で話されている自然なことばが勉強できるからです。ときどき、教科書で
 ぶんぽう べんきょう つか わ
 文法を勉強しても、どこでどのように使うのか分からないことがあります。し
 かし、アニメにはストーリーがありますから、じっさいの使い方がよく分かる
 のです。アニメだけでにほんご
 にほんご せんせい おも
 はとてもいい日本語の先生です。

第 44 課

(142 ページ)

1. (1) さっぽろ おおどおりこうえん ちゅうしん いつかかんおこな
 札幌の大通公園を中心に五日間行われます。
 (2) だいどころ ちゅうしん ごじゅうへいほう
 台所を中心に五十平方メートルやけました。
 (3) しょくりょうひん ちゅうしん しな ね あ
 食料品を中心にスーパーの品も値上げされました。
 (4) じゅうきゅうせいき せいよう え ちゅうしん はちじゅう さくひん み
 十九世紀の西洋の絵を中心に八十の作品が見られます。
2. (1) pl.) ものを大切にすべきだ (2) pl.) いろんなところに旅行すべきだ
 (3) pl.) みるべきではない (4) pl.) おとしよ ちい こ
 年寄りや小さい子どもにせきをゆずるべき
 だ (5) pl.) さいごまで世話(せわ)ができない人は、ペットをかうべきではない
3. (1) あきらめずに、おうえんしつづけようと(おも)います。
 (2) あした ざんぎょう はや かえ おも
 明日は残業せずに、早く帰ろうと(おも)います。
 (3) ひげをそらずに、かいしゃ き
 会社(かいしゃ)に来てしまいました。
 (4) おどろかずに、よく(き)聞いてください。

(143 ページ)

4-1. a. b. e.

4-2. (1) ○ (2) × (3) × (4) × (5) ○

第 45 課

(150 ページ)

1. (1) なげようとした (2) おいこそうとして (3) あきらめようとした
 (4) かけようとした (5) せいさん(せいさん)しようとした (6) おき(お)きようとした
 (7) ことわろうとした

2. (1) 私^{わたし}のねこはいつもえさを食^たべたがります。
- (2) 私^{わたし}のねこはいつもふくろの中^{なか}に入^{はい}りたがります。
- (3) 私^{わたし}のねこはいつも小^{ちい}さい子^こどもをこわがります。
- (4) 私^{わたし}のねこはいつも犬^{いぬ}といっしょにあそびたがります。
- (5) 私^{わたし}のねこはいつもか^まがみ^まの前^{まえ}に行^いくと、はずかしがります。
- (6) 私^{わたし}のねこはいつも病^び院^{ょう}に行^いくのをいやがります。
- (7) 私^{わたし}のねこはいつもシャンプ^しー^あー^んを^した^がり^ませ^ん。
- (8) 私^{わたし}のねこはいつも私^{わたし}がいなくてもさびしがりません。

(151 ページ)

3.

	műveltető		műveltető
の 飲 ^の みます	の 飲 ^の ませます	た 食 ^た べます	た 食 ^た べさせます
か 書 ^か きます	か 書 ^か かせます	み 見 ^み ます	み 見 ^み させます
はな 話 ^{はな} します	はな 話 ^{はな} させます	き 来 ^き ます	き 来 ^き させます
てっだ 手 ^て 伝 ^っ います	てっだ 手 ^て 伝 ^っ わせます	さんぽ 散 ^{さん} 歩 ^ぽ します	さんぽ 散 ^{さん} 歩 ^ぽ させます

4. pl.) お母^{かあ}さんはシンデレラにたくさんの服^{ふく}をせんたくさせます。
お母^{かあ}さんはシンデレラに料理^{りょうり}を作^{つく}らせます。
お母^{かあ}さんはシンデレラにおいしいものを食^たべさせません。

5-1. ゲルゲイ : c パク : a あい : b

- 5-2. (1) 歌^{うた}わせました (2) 説^{せつめい}明^{めい}してくれました (3) 書^かかせました
(4) 作^{つく}らせました (5) 答^{こた}えさせました

- 5-3. pl.) わたしが一番^{いちばん}よくおぼえている先生^{せんせい}は、化学^{かがく}の先生^{せんせい}です。先生^{せんせい}は、いつも面白^{おもしろ}い実^{じっけん}験^{けん}を見^みせてくれました。宿^{しゅくだい}題^{だい}はあまりさせませんでした。質^{しつもん}問^{もん}にはいつもていねいに答^{こた}えてくれました。

(152 ページ)

1. 日本^{にほんじん}人のゆきとハンガリー人^{じん}のペティは恋人^{こいびと}です。二人^{ふたり}が町^{まち}を一^{いっしょ}緒^ありに歩^{ある}いていると、ぐうぜん^{とも}にゆきの友^{とも}だちのさち子^こに会^あいました。ゆきがペティをさち子^こにしようかいすると、さち子^こはペティのことを「かっこいい」とほめてくれました。ゆきは彼^{かれ}のことをほめられてうれしかったのですが、「そんなことないよ、それに最近^{さいきん}太^{ふと}っちゃって。」と答^{こた}えました。それを聞^きいたペティは怒^{おこ}り、さち子^こが帰^{かえ}った

あと後、「なぜあんなことを言ったのか」とゆきに聞きました。

2.

Peti értékelése	Peti magyarázata	leírás	Yuki magyarázata	Yuki értékelése
	ゆきがだれかにあいさつをした。ゆきの友だちなんだろう。	ゆきとペティが歩いてると、ゆきの友だちのさち子に会った。	さち子に会った。ひさしぶりだ。	
うれしい。	友だちが自分のことをほめてくれた。	さち子がはじめて会うペティを見て、「かっこいい」と言った。	さち子がペティのことをほめてくれた。	うれしい。
私のことをゆきはどのように思っていたの？	ゆきが友だちの前で自分のことをわるく言っている。	ゆきが「そんなことはない。最近太った」と言った。	「うん」と言うと、じまんになるからけんそんしよう。	ペティと私はなかよしだから、どんなことを言っても大丈夫。
私のことがきらいになったのかもしれない。	ゆきに理由を聞く。	さち子が帰った後、ペティはゆきに「なぜあんなことを言ったのか」と聞いた。		
よくわからない。		ペティがおこっている。		どうしておこっているのかわからない。

(153 ページ)

3. ペティの考え方

- ゆきがだれかにあいさつをした。二人はとてもなかよく話しているから、きっといい友だちなんだろう。
- ゆきの友だちがぼくのことを「かっこいい」とほめてくれた。ゆきもうれしそうに笑っている。うれしいな。
- せっかくその友だちが「かっこいい」と言ってくれたのに、ゆきは「そんなことはない。最近太った」とぼくのことをわるく言った。ぼくはゆきのことととても好きだし、きれいだとじまんに思っていたのに、ゆきはぼくのことをどのように思っていたのだろうか。
- ゆきはどうしてぼくのことをわるく言った。ぼくが最近少し太ってしまったので、ぼくのことをきらいになってしまったのだろうか。理由を聞いてみよう。

ゆきの考え

- 久しぶりに町でさち子に会った。ハンサムな恋人のペティをしょうかいしよう。

2. 思った通り、さち子はペティのことを「かっこいい」とほめてくれた。うれしい。
3. 恋人のことをほめられたのはうれしいけど、「そう、かっこいいでしょ」と言っ
てじまんしていると思われたくないので、少しけんそんしよう。ハンサムなこ
とは、私が一番よく分かっているけど。ペティと私はなかよしだから、どん
なことを言ってもペティはおこらないだろう。
4. わたしが言ったことばに対して、ペティはきずついてしまったようだ。私は
そんなにひどいことを言ったのだろうか。どうしてそんなに怒っているのか分
からない。

〈ごかいのげんいん〉

pl.) 日本では、身内の人のことをじまんすることはよくないこととされていて、ほめ
られてもけんそんしたり、自分からわるく言ったりします。でも、これはあいさ
つのようなもので、本当は身内のことを大切に思っているし、じまんにも思っ
ています。しかし、ハンガリー人は、身内の人のいいところを、正直に他人にも話
します。この二つの文化のちがいが、二人のごかいを生んだのだと思います。

第 46 課

(156 ページ)

1. (1) pl.) 正しい答えをえらびなさい。
- (2) pl.) てきとうなことばを入れなさい。
- (3) pl.) 文を読みなさい。
- (4) pl.) 質問を聞きなさい。
- (5) pl.) 正しいかたちになおしなさい。
- (6) pl.) 問題について、ペアと話しなさい。
- (7) pl.) まちがいに線を引きなさい。
- (8) pl.) 会話をかんせいしなさい。
2. (1) 学生を立たせました。
- (2) 前の車を止まらせました。
- (3) 社員を社長室に来させました。
- (4) 犬を走らせました。
- (5) お母さんを心配させました。

(6) 妹^{いもうと}をなかせました。

3. (1) に／^た建てさせました (2) に／を／^も持って来させました
 (3) を／^い行かせました (4) に／^いかけさせます (5) を／^いびっくりさせます
 (6) を／^いおこらせました

(157 ページ)

4. (1) ^{なら}習わせてくれました (2) ^{てつだ}手伝わせました
 (3) ^{けんがく}見学させてくれませんでした (4) サインしてくれました
 (5) えらばせてくれます
5. (1) pl.) すみませんが、^{あした}明日テストをうけさせていただけませんか。
 (2) pl.) もうしわけありませんが、^{そうたい}早退させていただけませんか。
 (3) pl.) もうしわけありませんが、^{らいしゅうやす}来週休みをとらせていただけませんか。
 (4) pl.) すみませんが、インタビューをさせていただけませんか。
 (5) pl.) ^{わる}悪いけど、ちょっとコンピュータを^{つか}使わせてくれない？
 (6) pl.) ^{わる}悪いけど、そのゲーム^{つか}使わせて。
6. pl.) ^こ子どものとき、^{はは}母は^{まいにちいちじかん}毎日一時間だけ、^よまんがを読ませてくれました。でも、^{にちようび}日曜日はたくさん^{しゅくだい}宿題があったので、^{しゅくだい}宿題が終わるまで^よまんがを読ませてくれなかったし、^{とも}友だちとも^{あそ}遊ばせてくれませんでした。だから、^{わたし}私は^{はや}早く^お終わるように^{がっこう}学校で^{しゅくだい}宿題を^お終わらせました。
^{あに}兄は^{ときどき}時々、^{あに}兄の^{たいせつ}大切なギターを^{つか}ひかせてくれました。だから^{わたし}私は^{いま}今、^おギターがとくいです。

(158 ページ)

2. pl.)

A: これからよろしくね。

B: こちらこそよろしく。これからいっしょに^す住むから、^{ふたり}二人の^{つく}ルールを作りましょう。

A: いいね。まず、^{だいどころ}台所は二人が^{ふたり}いっしょに^{つか}使うところだから、^{つか}きれいに^{つか}使うようにしよう。

B: そうしましょう。おさらを^{つか}使ったり、^{りょうり}料理を^{あと}したりした後は、^{あと}できるだけすぐ^{ぶんべつ}にかたづけるように^{ぶんべつ}しましょう。ごみは、この3つのごみばこに^{ぶんべつ}分別してすて

るようにしましょうね。

A：それはいいアイデアだね。じゃあ、これがプラスチックごみ、これがカン、これがビンね。

B：次に、友だちをよぶ時間だけど、・・・

第 47 課

(162 ページ)

1.

	műveltető	szenvedő műveltető teljes forma	szenvedő műveltető rövid forma
	ige I -a せます ige II -させます	ige I -a せられます ige II -させられます	ige I -a されます
行きます	行かせます	行かせられます	行かされます
読みます	読ませます	読ませられます	読まされます
およぎます	およがせます	およがせられます	およがされます
走ります	走らせます	走らせられます	走らされます
待ちます	待たせます	待たせられます	待たされます
歌います	歌わせます	歌わせられます	歌わされます
出します	出させます	出させられます	
見ます	見させます	見させられます	
食べます	食べさせます	食べさせられます	
そうじします	そうじさせます	そうじさせられます	
来ます	来させます	来させられます	

2. (1) 税金をはらわせられます／はらわされます
- (2) けいさつに中止させられました
- (3) 父に数を数えさせられました
- (4) 母にかべにペンキをぬらせられました／ぬらされました
- (5) 友だちに二時間も待たせられました／待たされました
- (6) 試合のけっかにがっかりさせられました

(163 ページ)

3. 私^{わたし}は子ども^このとき、テニスのコーチ^{はし}にいつも走^{はし}らされました。そして、たくさん^たのしあいに^だ出させられました。体力^{たいりょく}がつくように、母^{はは}にたくさん^た食べさせられました。

4. (1) 私^{わたし} (2) 子ども^こ (3) 私^{わたし} (4) 先^{せん}ぱい (5) 友^{とも}だち (6) 私^{わたし} (7) 父^{ちち}

5. (1) 始^{はじ}めました (2) 習^{なら}いたい (3) 学^{まな}びました (4) して (5) させられる
(6) 注^{ちゅうい}意^いされました (7) する (8) する (9) 使^{つか}わせて (10) させられる
(11) させられる (12) 言^いわれて

(165 ページ)

2. pl.) 私^{わたし}は、一つ^{ひと}の外国語^{がいこくご}をふかく勉強^{べんきょう}することが大切^{たいせつ}だと思^{おも}います。

一つ^{ひと}の理由^{りゆう}は、英語^{えいご}などの共通語^{きょうつうご}があれば、だれ^{ほな}とでも話^{はな}すことができるよ
うになるからです。現在^{げんざい}は、学校^{がっこう}でも仕事^{しごと}でも、母語^{ぼご}が違^{ちが}う人^{ひと}同^{どう}士^しが英語^{えいご}でコ
ミュニケーション^{おお}することが多^{おほ}くなりました。それぞれの違^{ちが}う言葉^{ことば}をたくさん
学^{まな}ぶより、一つ^{ひと}の「共通語^{きょうつうご}」を深く^{ふか}勉強^{べんきょう}すれば、時間^{じかん}的^{てき}にもけいざ^こい^ご的^{てき}にも
効^{こう}率^{りつ}的^{てき}だと思^{おも}います。

もう一つ^{ひと}の理由^{りゆう}は、英語^{えいご}などの国際^{こくさい}共通語^{きょうつうご}がつか^{つか}えないと、国際^{こくさい}社会^{しゃかい}で生きて
いけ^いないからです。さい^いきん^んは、外国^{がいこく}の大学^{だいがく}に留^{りゅう}学^{がく}するとき、会社^{かいしゃ}に入^{はい}るとき
など、いつも英語^{えいご}ののう^きりよく^きを聞^きかれます。

このよ^おうな理由^{りゆう}から、私^{わたし}はもう一つ^{ひと}の言語^{げんご}を、母語^{ぼご}のよ^おうに深く^{ふか}学^{まな}びたいと
思^{おも}っています。

第 48 課

(168 ページ)

1. (1) 友^{とも}だちにジャズのライブ^{ライブ}にさそ^さわれたこと
(2) ハンガリー^{ハンガリー}の彼^{かれ}とけっ^けこんした^{した}こと
(3) ロバート・キャパ^{ロバート・キャパ}の写^{しゃ}真^{しん}を見^みてショッ^{しよ}ク^くをう^うけたこと
(4) ランニ^{ランニ}ング^{ング}を始^{はじ}めた^{めた}こと

2. (1) 住^すめば住^すむほど
(2) きんち^{きんち}ょう^{ょう}すればきんち^{きんち}ょう^{ょう}するほど

- (3) むずかしければむずかしいほど
- (4) 白ければ白いほど
- (5) えらくなればえらくなるほど
- (6) きれいであればきれいであるほど
- (7) 新鮮であれば新鮮であるほど
- (8) いいホテルであればいいホテルであるほど

(169 ページ)

3. (1) せいで (2) せいで (3) おかげで (4) おかげで (5) せいで

4. (1) 留学生 (2) 家族 (3) 名所 (4) ほんやく家 (5) 人間 (6) 趣味
 (7) アマチュア、プロ (8) 社会人

5. (1) pl.) 5年前、京都から来た日本人の留学生に会いました。そして、少しずつ日本語の勉強を始めました。
 (2) pl.) たくさんの日本人と知り合って、自分の世界が広がったこと。
 (3) pl.) 毎日漢字の勉強をしなければならないこと。
 (4) pl.) 日本に留学して、毎日日本語を使えば、もっと上手になると思う。
 (5) pl.) 将来のゆめは、日本文学のほんやく家になること。そのために、今から日本文学を勉強したい。

pl.) 私は京都から来た日本の留学生と友だちになったことをきっかけに、日本語の勉強を始めました。日本語を勉強したおかげで、たくさんの日本人と知り合って、自分の世界が広がりました。しかし、漢字のせいでなかなか勉強が進みませんでした。日本語は使えば使うほど上手になると思います。これからも日本語の勉強をつづけていきたいと思っています。
 私は将来、ほんやく家として日本文学をほんやくしたいと思っています。そのため、これからもたくさん日本文学を勉強したいと思っています。

(170 ページ)

1. pl.)

スピーチのながれ	メモ
1. 自己しょうかい	皆様、こんにちは。ハンガリーから来たサボー・マルギットです。

<p>2. むかしの自分</p> <ul style="list-style-type: none"> 前とくらべてもっともかわったことは何ですか。かわる前のことについてエピソードも入れて話してください。 	<p>日本に来る前は、日本語があまり分からなかったし、まちがうことがはずかしくてなかなか自分から話すことができませんでした。</p>
<p>3. へんかのきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 何がきっかけでかわりましたか。くわしく話してください。 	<p>しかし、近所の人でも日本人の友だちも、いつもやさしく声をかけてくれて、私の話を最後まで笑顔で聞いてくれました。ハンガリーに興味を持っていろいろ質問してくれたので、ガイドブックを見せながら説明して、もっと仲良くなりました。いつのまにか、まちがうことははずかしいことだと思わなくなっていました。</p>
<p>4. へんかの意味</p> <ul style="list-style-type: none"> そのへんかはあなたにとってどんな意味がありますか。 どんなことをあなたは学びましたか。 	<p>時々言葉が分からなくても、人は心で通じ合えるということを学びました。</p>
<p>5. おれい</p> <ul style="list-style-type: none"> あなたをたすけてくれた人についていねいにおれいを言ってください。 	<p>いろいろ分からないことが多くて、皆様にはごめいわくをおかけしたかもしれませんが、皆様のおかげで楽しい日本の生活を送ることができました。今度はハンガリーで皆様をお待ちしています。本当にありがとうございました。</p>

(171 ページ)

2. pl.)

拝啓

こちらはすっかりすずしくなり、気持ちのいい日がつづいています。皆様、いかがおすごしですか。私はハンガリーに戻り、新学期を迎えて、毎日忙しく過ごしています。佐藤さん家族と別れて1ヶ月しかたっていませんが、一緒に過ごした日々がとてもなつかしいです。

去年の今頃は、私もまだ日本語があまり上手に話せませんでした。ちょうど今

の季節、一緒にハイキングに行って楽しい時間を過ごしましたね。山で一緒に食べたおいしいお弁当の味は、今でも忘れられません。

お父さんとお兄さんからは、何でもチャレンジすることの大切さを教わりました。ハンガリーに帰った今、私は新しく「いけばな」の勉強を始めました。お花が好きなお母さんからは、自然の大切さを学びました。

あと2年間、こちらの大学生活が残っていますが、「ほんやく家になる」という夢をかなえるために、これからも一生けんめい勉強したいと思います。来年の夏、佐藤さん家族にハンガリーでお会いできるのを楽しみにしています。

どうぞ皆様、お体にお気をつけて。

10月10日

敬具

佐藤家の皆様

サボー・マルギット